

下田小だより

平成28年 7月 1日号
文責 久留米市立下田小学校
校長 大久保 美加



親子ふれあい活動、授業参観、学習発表会 ご出席ありがとうございました。

いよいよ、1学期も残り2週間余りとなりました。6月26日は、親子ふれあい活動、授業参観、学習発表会とご参観いただきありがとうございました。日曜日ということで、ご家族たくさんの方に来ていただき、子どもたちは大変うれしかったことと思います。学習発表会では、各学年それぞれの持ち味や良さが表れ、また、自分たちが学んだことをしっかり伝えたいという思いがよく分かる発表でした。

【1年生「くちばしの発表」】 参観いただいた方々からもどの学年の発表も褒めていただく声がたくさん届きました。本当にありがたいことです。子どもたちが一つ一つの学習や行事を通して、自分の学びや自信を重ねていき、次への意欲や頑張りにつなげていくように、私たちもしっかり取り組んでいきたいという思いをさらに強くした1日でした。

～ 豊かな子ども期を過ごすために ～

スマホ・ゲーム社会で最低限必要な約束

- 22時以降は使わないこと。
- 自分（子ども）の部屋に持ち込まないこと。
- 何かあったら相談すること。

子どもたちが育つのに大切な「たい」 ：自尊心を育てる

- ほめられたい ○認められたい ○役に立ちたい
- #### 子どもたちの話を聞ける大人になる

- 批判をしない
- 結論を急がない
- 話しやすい環境を作る

6月10日に開催された「PTA人権教育研修会」に参加されたPTA役員のお母さんから、大変すばらしい言葉を教えていただきました。是非、たくさんの方に広げたいと思い、紹介します。ネット社会、メディア漬けと懸念される社会の中で、子どもたちの体やこころの発達に大きな異変がおきているそうです。特に、言葉による表現が低下し、人間関係作りがうまくできなくて、非言語による表現：「授業妨害」「不登校」などが増えています。子どもたちのこのようなSOSをキャ

ッチし、自己肯定感や自尊感情をしっかり育むためには、私たち大人が左記のようなことを心してやっていくことが求められています。みんなで子どもたちを豊かに育てていきましょう。

各家庭でのご協力で、6月のスローメディアウィークでは、「テレビやゲームの時間」が1週間で0分（1日～7日）の人が10人以上いました。そして、読書や家庭学習の時間もそれに伴い増えています。また、5年生の振り返りに、「家庭学習の時間は、Yさん（6年生）のまねをして1時間にしました。」とうれしい感想もありました。少しずつ定着してきています。テレビやゲームの時間を家族でのふれあいに使って下さい。ご協力宜しくお願いします。

「5回目で初めて田植えをする中心となって田植えをしました！」



今年も江頭和彦様を始め、老人会やJA青年部の皆様、大石様などたくさんの方々のご協力で、6月28日に田植えをしました。表題は5年生の振り返りの一文です。5年生は、みんなよりも早く田んぼに行って田んぼの約三分の一以上を植えてくれました。そのおかげで、時間内に他の子どもたちが横一列に並んで田植えをすることができました。みんなで力を合わせると「無理」と思うこともできることを5年生が示してくれました。1年生も初めての田んぼの中のぬめる感触を楽しみ、6年生は「最後かも知れない」と感慨深げにがんばりました。下田ならではの体験活動は、子どもたちにたくさんの「大切なもの」を教えてください。じょうぶに育ってね、下田のお米！

【力を合わせてがんばる5年生】

